

中学生防災通信ボランティア平成26年度第3回訓練

日時 平成27年3月15日(日)
午後1時30分～

場所 幡豆いきいきセンター
ボランティアルーム

1 挨拶

2 第3回通信訓練(トランシーバー操作実習)

特別小電力トランシーバーで3組(6班)に分け送受信訓練実施

訓練 想定:避難所の責任者から、要請の言葉を書いたメモを渡され、
本部への要請文の伝達を頼まれた。

内容:受け取ったメモから内容を理解し文章を作り、トランシーバ
で本部へ伝達する。また、要請文を受信する。

3 三ヶ根通信ボランティアの活動報告及び今後の計画

4 防災講話 講師 西尾市危機管理課松崎様

5 返納式 3年生メンバーのユニフォーム返納

鈴木一輝、田中勇飛、野口峻暉、深谷賢太、山崎丸輝、山崎涼馬
倉地杏実、小嶋なつせ、原田亜美、星野沙也加

6 「三ヶ根通信ボランティア」のホームページ開設

目的 卒業しても防災について関心を持ってもらい、また後輩の活動を見守ってほしい。

アドレス <http://yaromai.dip.jp/stv/> トップページのみ一般公開

OBのページ パスワードが必要(ボランティアメンバー、OB、関係者)

UserName「 」 Password「 」

活動の写真や訓練資料を中心に掲載する。

7 その他

○ 通 信 訓 練

トランシーバについて

- ・電力の大きなものを使用するのは無線従事者免許がいる
- ・免許のいないものは、電波の届く範囲がせまい。
- ・非常通信の場合は、生命が大切なので制限がない。

トランシーバーによる通信

- ・片通話である。携帯電話と違う。糸電話と同じ。
- ・PTTボタンを押しながら話す。PTTボタンを離して聞く。
PTT(P u s h T o T a l k)
- ・「どうぞ」と「おわり」が必要

通信をするとき

- ・はっきり落ち着いて話す。
- ・すぐには聞きなおせないなので、わからなかったところがあれば、そこを覚えておく。
- ・トランシーバのMIC部分に口を近づける(離すとエコーがかかったような声になる)
- ・一度に多く話さない。
- ・特に語尾をはっきり言う。また子音は伝わりにくいのではっきり言う。
- ・誰が誰と話しをしているかがわかること。
- ・訓練のときは、必ず「**訓練**」の言葉を言う。

訓練内容

避難所 「本部、本部、こちらは()避難所の()です。
感度いかがですか? どうぞ」

本 部 「()さん、こちらは()です。感度良好です。」

少し雑音が入りますが分かります。
雑音が多くて聞きづらいです。
ほとんど、了解できません。もう一度お願いします。

避難所 「〇〇さん、それでは〇〇避難所から、本部へ要請がありますので、送っていいですか? どうぞ」

本 部 「送ってください。どうぞ」

避難所 「**訓練** こちらは、〇〇避難所の〇〇です。 要請は、訓練
(要請文を伝える) 以上です。どうぞ」

本 部 「了解しました。復唱します。
訓練 (受信文を読み上げる) これでいいですか? どうぞ」

避難所 「間違いありません。こちらは〇〇避難所でした。おわり」

本部 「()さん 了解しました。おわり」

* 要請文については、受け取ったメモから、要請の内容を理解し、伝達文を簡潔に作文する。長文は伝達に時間がかかるので、簡潔にまとめる必要がある。

通 信 訓 練 メ モ

自分の情報

運用者(自分)名前

避難場所 ・東幡豆小学校 ・幡豆ふれあいセンター
・幡豆小学校 ・鳥羽老人憩の家

要請内容は、
「 訓練、

」

聞いた情報(受信メモ)

本部(相手)の名前

避難場所 ・東幡豆小学校 ・幡豆ふれあいセンター
・幡豆小学校 ・鳥羽老人憩の家

感度 ・感度良好です。
・少し雑音が入りますが分かります。
・雑音が多くて聞きづらいです。
・ほとんど了解できません。もう一度お願いします。

避難所からの受信文

要請内容は、
「 訓練、

」

練習問題

薬の不足	血圧の薬と糖尿病の薬
中学校北側道路が土砂崩れ	通行止め看板
緑ヶ崎地区 液状化で通行不能	物資は海上 棧橋はOK
()公民館の裏山 土砂崩れの恐れ	避難所を移動
()地区で火災発生	消防車と救急車
要援護者が10人	福祉避難所
トイレトペーパーが不足	100ロール
避難所の駐車場が液状化で使用できない	公民館北側はOK
胸が痛くて苦しんでいる人がいる	救急車では、無理
エアコンの調子が悪い	修理を要す
エアコンが故障(寒い)	ホッカイロヲ100人分
大雨が降ってきた	テント2張りが必要
三ヶ根道路が崩れて、ホテルの客が孤立	防災ヘリ
崎山地区が土砂崩れで孤立	食料の空輸 ヘリポートはOK
怪我人が5人	救急車

活動等の名称	幡豆中学生の防災通信ボランティア
団体名等	三ヶ根通信ボランティア
代表者名	堀 克次
連絡先電話番号	0563-62-3704 (090-9173-3137) hori-haz@katch.ne.jp
活動等の内容	<p>○メンバー構成 地元のアマチュア無線クラブの中で防災ボランティアに関心のある9名で行っている。昭和58年に結成し、「愛知県登録防災ボランティアグループ」に登録している(58消第24-84号)</p> <p>○地域の特性 幡豆地域には高校、大学がなく、会社も少ないので、特に平日の昼間に災害が起きた場合は、小さい子供、老人ばかりであり、地元中学生が大きな頼りである。</p> <p>○活動の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三ヶ根通信ボランティアは愛知県防災訓練、地元の防災訓練等の訓練で特に電話等の通信が途絶えたという想定で、アマチュア無線を利用した通信訓練を行っている。 ・地元の中学生に対して少しでも防災に関心を持ってもらい、避難所等で大人の手伝いができるよう、特に情報伝達を主とした活動ができるように8年前の平成18年から中学生からボランティアメンバーを集め訓練を行っている。 ・中学生に対する訓練内容 トランシーバの特性で、送信ボタンを押しながら話し、ボタンを離して受信をするという操作と情報の確実な伝達のための訓練を行っている。 ・このような中学生の情報伝達を中心としたボランティアは、ユニークな活動である。 ・今年度の中学生の活動 新入生も入れて16名であり、6月28日に第1回通信訓練を実施した。今後は、9月の中学校避難訓練時の校内発表と12月及び3月に通信訓練を予定している。
担当課	
担当者名	

過去3年間の主な行事

開催日	事業内容
H23.8.6	中学生防災通信ボランティアH23第1回訓練
H23.8.28	愛知県総合防災訓練情報伝達訓練参加
H23.10.9	西尾市総合防災訓練(一色町)参加
H23.11.20	幡豆地区合同防災訓練参加
H23.11.27	中学生防災通信ボランティア第2回訓練H23
H24.3.17	中学生防災通信ボランティア第3回訓練H23
H24.6.23	H24中学生防災通信ボランティア第1回訓練
H24.9.2	愛知県総合防災訓練情報伝達訓練参加
H24.9.3	中学生防災通信ボランティア校内発表会
H24.11.18	西尾市総合防災訓練(白浜小学校)参加
H24.11.25	幡豆地区防災訓練参加
H24.12.2	中学生防災通信ボランティアH24第2回訓練
H25.3.16	中学生防災通信ボランティアH24第3回訓練
H25.6.29	中学生防災通信ボランティアH25第1回訓練
H25.9.1	愛知県総合防災訓練情報伝達訓練参加
H25.9.2	中学生防災通信ボランティア校内発表会
H25.11.5	西尾市総合防災訓練参加
H25.11.17	東幡豆小学校区防災訓練参加
H25.12.7	中学生防災通信ボランティアH25第2回訓練
H26.3.15	中学生防災通信ボランティアH25第3回訓練
H26.6.28	中学生防災通信ボランティアH26第1回訓練
H26.8.31	愛知県総合防災訓練情報伝達訓練参加
H26.9.1	中学生防災通信ボランティア校内発表会